

非破壊試験機
PRO Tester TR-30
アンカーボルト引抜荷重確認試験機

簡単スタートアップガイド



適合サイズ

M6～M16

W1/4～W1/2



株式会社 トラスト

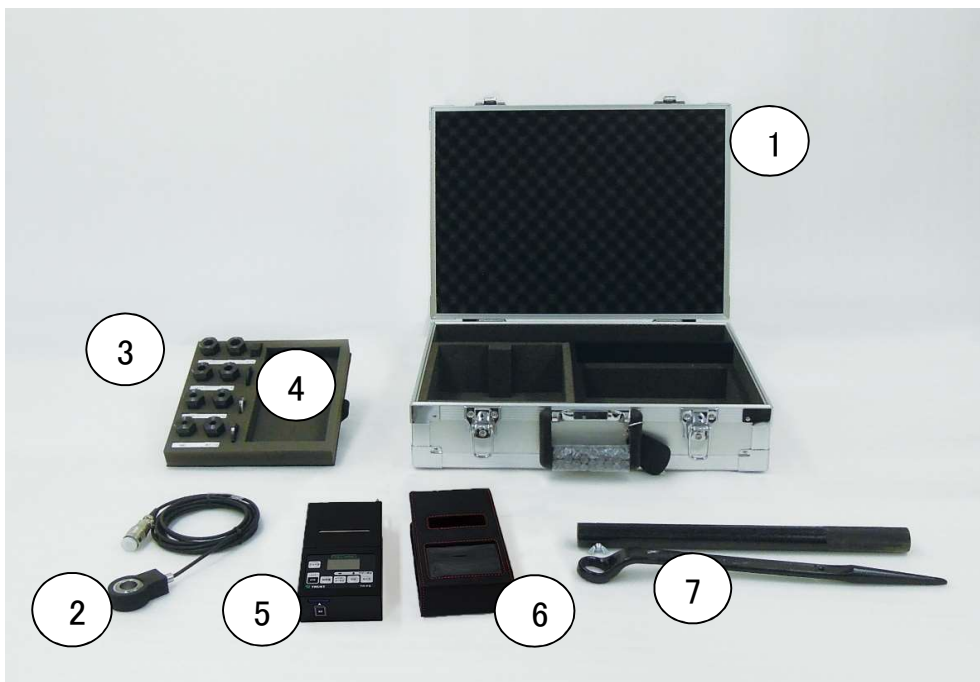
〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

NETIS登録番号 KT-160111-A

目 次

1,	標準セット付属品一覧		P-1
2,	注意事項		P-2
3,	TRをご使用になる前に必ずお読みください		P-3~4
4,	データ収録機能		P-5
5,	組立手順		P-6~7
6,	操作手順		P-8~10
7,	メモ		P-11

1, 標準セット付属品一覧



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計(TR-30)
- ③ 専用カプラ M6～M16、W1/4～W1/2
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ デジタルプリンター付表示器
- ⑥ デジタルプリンター付表示器用ケース
- ⑦ スパナ(24mm)、延長パイプ

※SDカードは別途お買い求めください。

2, 注意事項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬時に落とす等、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。
- 9, より詳しい取扱い方法は別紙のTR-P II 本体取扱説明書をご参照ください。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に

よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

3. TRをご使用になる前に必ずお読みください



- I TR-30/75/150をご使用になる前に
F-7の設定でTEDS読込設定を
必ず確認してください。
4項目共に[スル]になっていない場合は
必ず変更してください。

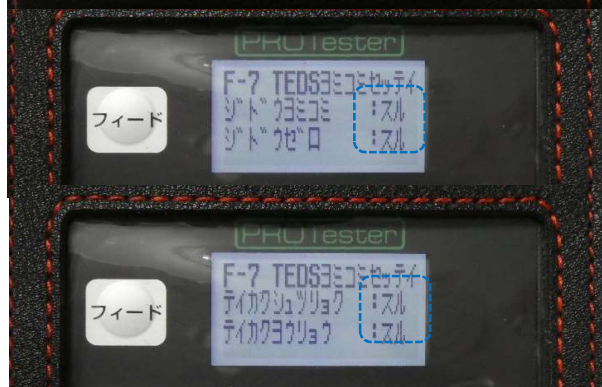


- II F-7を確認するときは、セットボタンを
長押ししてファンクションメニューに
遷移します。



- III F-2の表示から、
「ピークホールド」のボタンを5回
押すと、表示画面がF-7になります。

F-7が表示されたら、セットボタンを
押してください。



- IV 変更メニューに遷移すると
〈スル〉〈サイン〉の項目が点滅するので
[セロ] ボタンで変更して [セット] を押し
次の項目に移動します。
4項目共に同様の操作で変更します。



V 定格容量の項目を<スル>に変更したら

[セット] を押してF-7画面に戻ります。

[セ'ロ] を押すと、現在の荷重の
表示画面に戻ります。

VI 一度電源を落として、

起動し直すと、接続している
荷重計の読み値が表示されます。

VII この設定はTRシリーズに登録されて

いる設定情報を自動的に読み込む
ための設定ですので、TRシリーズを
接続して使用する際は必ず確認を
してください。

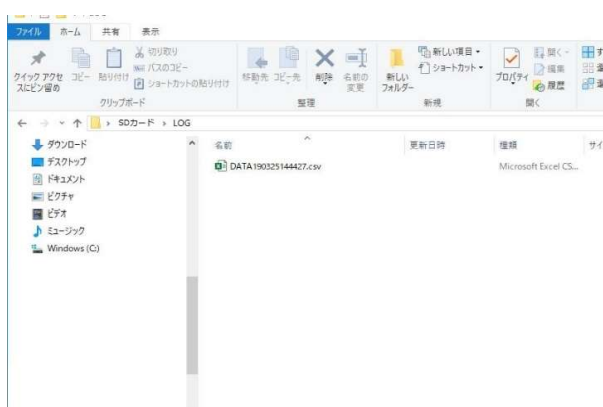
4, データ収録機能

- ① 本器にはSDカードに測定データを収録する機能が搭載されています。

挿入口: 本体底部



- ② データの保存場所は下記の通りです。
任意のドライブ: ¥LOG



- ③ 上記フォルダ内のCSVデータが測定値の記録されているファイルです。
各項目の日本語名は下記の通りです。
date: 日付 time: 時間 part: 部位名
count: 測定数 comparator: 設定値
measurements: 測定値 unit: 単位

date	time	part	count	comparator	measurement	unit
190325	14:44:30	AA	1	10	0.01	kN

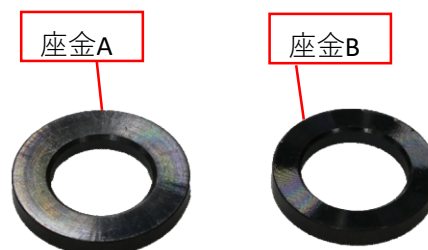
- ④ 予め部位番号を設定する場合は
[ピークホールド] 長押しで<ブイハンゴウ>の
設定画面へ遷移します。
[セット] で変更メニューに遷移し
[ピークホールド] で桁、[ゼロ] で任意の値に
変更して [セット] で確定します。
[ゼロ] で測定画面に戻ります。



5. 組立手順



- ① 座金A (t=4.0mm) をボルトに通します。



- ② 座金Aの内径孔に沿うように、
センターホール型荷重計を設置します。



- ③ センターホール型荷重計の上に
座金B (t=4.5mm) をのせます。



- ④ 座金Bの上に銀色(片面鈍色)の
座金を、鈍色面を上にして設置します。



※銀色の座金を使用しないと、
センターホール型荷重計が供回りします。





- ⑤ カブラを軽く手で締め付けます。
凸凹面などは、水平になるように
鉄板やクサビなどで調整して下さい。

- ⑥ スパナに延長パイプを繋ぎます。



- ⚠ ※ 蝶ネジを必ず締め付けてください。

6. 操作手順



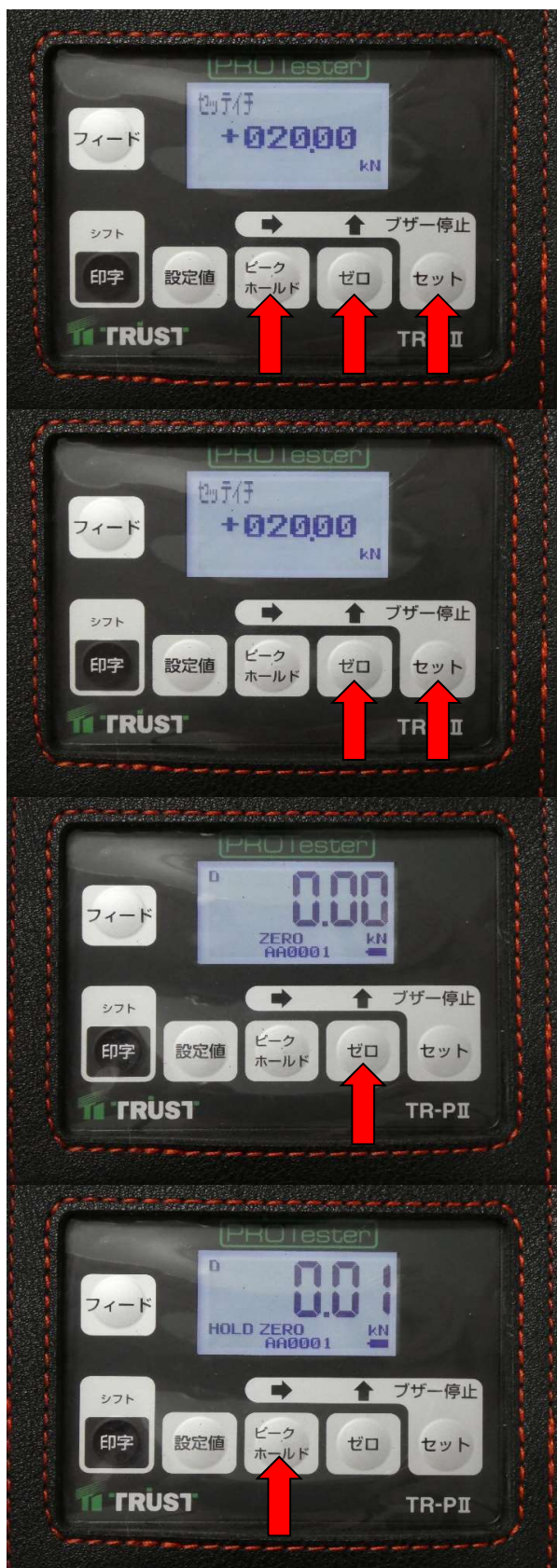
- ① デジタル表示器の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。
この時にSDカードが挿入されているか
必ず確認してください。
※SDカードがない状態では使用できません。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。
※バックライト使用時は「LIGHT」
の位置に合わせます。
電源ON時にSDの抜き差しは
絶対にしないでください。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為
操作をしないで下さい。
「Id_rd」と表示されたあと、「0.01」や「0.02」等
の
数字に変化します。
- ④ 測定値を超えた際にブザーを吹鳴する
ように設定値を入力するには、[設定値]
ボタンを長押しします。(2秒以上)



⑤ 設定値メニューに遷移したら

[セット] ボタンを押して入力モードにします。

[ピークホールド] ボタンで変更したい桁、

[ゼロ] ボタンで数値の変更をします。

※ [シフト] を押しながら操作した場合
数値は減数、桁は左へ移動します。

⑥ 完了後に [セット] ボタンで確定し

[ゼロ] ボタンの短押しで

測定画面に遷移します。

⑦ [ゼロ] ボタンを押し、ゼロ設定をします。

液晶画面に<ZERO>が表示します。

⑧ 最大値の表示を保持する場合は、

[ピークホールド] ボタンを短押しします。

液晶画面に<HOLD>が表示します。



- ⑨ スパナでカブラを締め付けて測定します。

設定値に達するとブザーが吹鳴します。

- ⑩ [印字] ボタンを押し、データを記録し同時に印字します。

※F-15の設定で印字機能を[シナイ]を選択

されている場合はデータ収録のみとなります。

新部位番号の設定、SDの変更、4秒超の長押し操作後に一度だけ[シンファイルメイ]と表示します。

- ⑪ 印字イメージはこのようになります。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
Ad,-Ad	入力範囲の+側、-側のオーバーです。	正しく接続されているか、断線がないかを確認し異常がある場合は交換や修理を行ってください。
ES	SDカードエラーです。	SDカードのプロテクトの確認とフォーマット形式を確認してください。
EP	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です。	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください。
IdErr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が全て「スル」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
ET	TEDS読みエラーです。	TEDS搭載の変換器であることを確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

✕毛



大阪支店 〒567-0029
大阪府茨木市五日市緑町5番32号
TEL:072-621-4164 FAX:072-621-4166

東京支店 〒123-0864
東京都足立区鹿浜3丁目4番3号
TEL:03-5838-0723 FAX:03-5838-0724

販売店	販売担当
	検品

非破壊試験機
PRO Tester TR-75
アンカーボルト引抜荷重確認試験機

簡単スタートアップガイド



適合サイズ

M6～M16

W1/4～W5/8



株式会社トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

NETIS登録番号 KT-160111-A

目 次

1,	標準セット付属品一覧		P-1
2,	注意事項		P-2
3,	TRをご使用になる前に必ずお読みください		P-3~4
4,	データ収録機能		P-5
5,	組立手順		P-6~7
6,	操作手順		P-8~10
7,	メモ		P-11

1, 標準セット付属品一覧



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計(TR-75)
- ③ 専用カプラ M6～M16、W1/4～W5/8
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ 寸切ボルト(M6～M16、W1/4～W5/8)
- ⑥ スパナ(36mm)、延長パイプ
- ⑦ デジタルプリンター付表示器
- ⑧ デジタルプリンター付表示器用ケース

※SDカードは別途お買い求めください。

2, 注意事項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬時に落とす等、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。
- 9, より詳しい取扱い方法は別紙のTR-P II 本体取扱説明書をご参照ください。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に

よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

3. TRをご使用になる前に必ずお読みください



- I TR-30/75/150をご使用になる前に
F-7の設定でTEDS読込設定を
必ず確認してください。
4項目共に[スル]になっていない場合は
必ず変更してください。

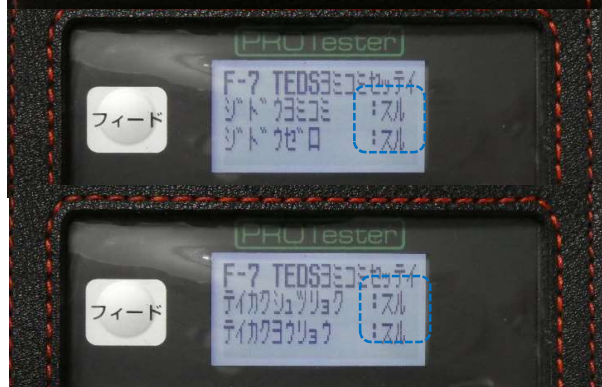


- II F-7を確認するときは、セットボタンを
長押ししてファンクションメニューに
遷移します。



- III F-2の表示から、
「ピークホールド」のボタンを5回
押すと、表示画面がF-7になります。

F-7が表示されたら、セットボタンを
押してください。



- IV 変更メニューに遷移すると
〈スル〉〈シナイ〉の項目が点滅するので
[ゼロ] ボタンで変更して[セット] を押し
次の項目に移動します。
4項目共に同様の操作で変更します。



- V 定格容量の項目を<スル>に変更したら
[セット] を押してF-7画面に戻ります。

[ゼロ] を押すと、現在の荷重の
表示画面に戻ります。

- VI 一度電源を落として、
起動し直すと、接続している
荷重計の読み値が表示されます。

- VII この設定はTRシリーズに登録されて
いる設定情報を自動的に読み込む
ための設定ですので、TRシリーズを
接続して使用する際は必ず確認を
してください。

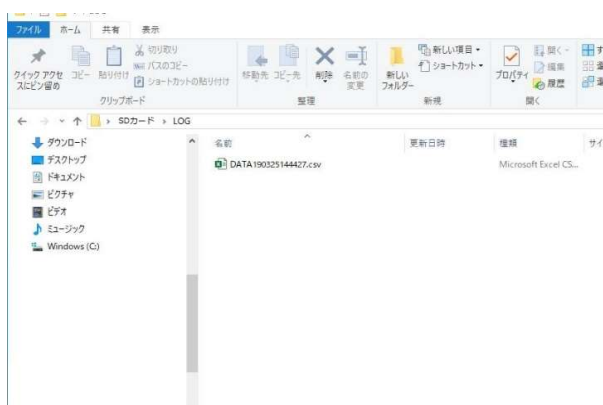
4. データ収録機能

- ① 本器にはSDカードに測定データを収録する機能が搭載されています。

挿入口: 本体底部



- ② データの保存場所は下記の通りです。
任意のドライブ: ¥LOG



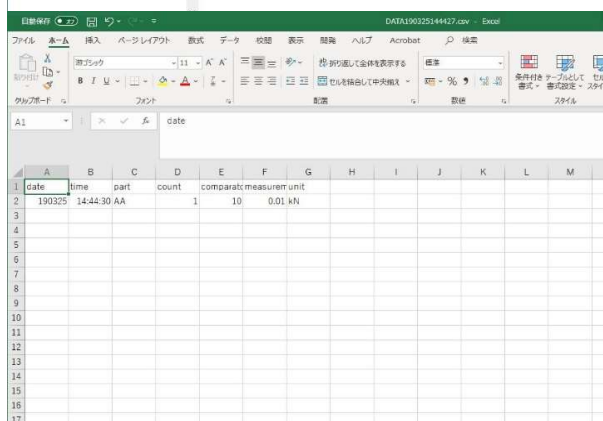
- ③ 上記フォルダ内のCSVデータが
測定値の記録されているファイルです。

各項目の日本語名は下記の通りです。

date: 日付 time: 時間 part: 部位名

count: 測定数 comparator: 設定値

measurements: 測定値 unit: 単位



- ④ 予め部位番号を設定する場合は
[ピークホールド] 長押しで<ブイバンゴウ>の
設定画面へ遷移します。
[セット] で変更メニューに遷移し
[ピークホールド] で桁、[ゼロ] で任意の値に
変更して [セット] で確定します。
[ゼロ] で測定画面に戻ります。



5. 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。



- ④ 黒い座金の上に銀色(片面黒)の座金を
設置します。



- ※銀色の座金を使用しないと、
センターホール型荷重計が供回りします。

鈍色面



銀色面





- ⑤ カブラを軽く手で締め付けます。
凸凹面などは、水平になるように
鉄板やクサビなどで調整して下さい。



- ⑥ スパナに延長パイプを繋ぎます。

⚠ ※蝶ネジを必ず締め付けてください。



6, 操作手順



- ① デジタル表示器の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。
この時にSDカードが挿入されているか
必ず確認してください。

※SDカードがない状態では使用できません。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。

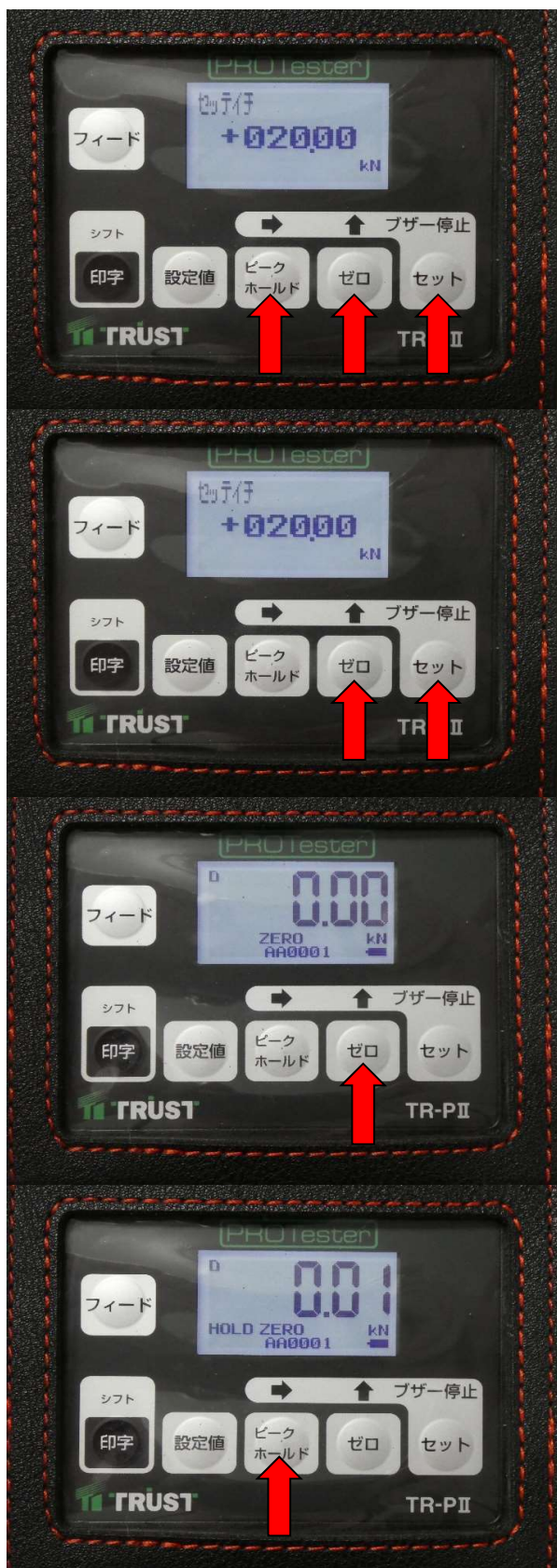
※バックライト使用時は「LIGHT」
の位置に合わせます。

電源ON時にSDの抜き差しは
絶対にしないでください。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為
操作をしないで下さい。
「Id_rd」と表示されたあと、「0.01」や「0.02」等の
数字に変化します。

- ④ 測定値を超えた際にブザーを吹鳴する
ように設定値を入力するには、[設定値]
ボタンを長押しします。(2秒以上)



⑤ 設定値メニューに遷移したら

[セット] ボタンを押して入力モードにします。

[ピークホールド] ボタンで変更したい桁、

[ゼロ] ボタンで数値の変更をします。

※ [シフト] を押しながら操作した場合
数値は減数、桁は左へ移動します。

⑥ 完了後に [セット] ボタンで確定し

[ゼロ] ボタンの短押しで

測定画面に遷移します。

⑦ [ゼロ] ボタンを押し、ゼロ設定をします。

液晶画面に<ZERO>が表示します。

⑧ 最大値の表示を保持する場合は、

[ピークホールド] ボタンを短押しします。

液晶画面に<HOLD>が表示します。



- ⑨ スパナでカブラを締め付けて測定します。

設定値に達するとブザーが吹鳴します。

- ⑩ [印字] ボタンを押し、データを記録し同時に印字します。

※F-15の設定で印字機能を[シナイ]を選択

されている場合はデータ収録のみとなります。

新部位番号の設定、SDの変更、4秒超の長押し操作後に一度だけ[シンファイルメイ]と表示します。

- ⑪ 印字イメージはこのようになります。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
Ad,-Ad	入力範囲の+側、-側のオーバーです。	正しく接続されているか、断線がないかを確認し異常がある場合は交換や修理を行ってください。
ES	SDカードエラーです。	SDカードのプロテクトの確認とフォーマット形式を確認してください。
EP	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です。	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください。
IdErr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が全て「スル」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
ET	TEDS読みエラーです。	TEDS搭載の変換器であることを確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

✕毛



大阪支店 〒567-0029
大阪府茨木市五日市緑町5番32号
TEL:072-621-4164 FAX:072-621-4166

東京支店 〒123-0864
東京都足立区鹿浜3丁目4番3号
TEL:03-5838-0723 FAX:03-5838-0724

販売店	販売担当
	検品

非破壊試験機
PRO Tester TR-150
アンカーボルト引抜荷重確認試験機

簡単スタートアップガイド



適合サイズ

M6～M24

W1/4～W7/8



株式会社トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

NETIS登録番号 KT-160111-A

目 次

1,	標準セット付属品一覧		P-1
2,	注意事項		P-2
3,	TRをご使用になる前に必ずお読みください		P-3~4
4,	データ収録機能		P-5
5,	組立手順		P-6~7
6,	操作手順		P-8~10
7,	メモ		P-11

1, 標準セット付属品一覧



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計(TR-150)
- ③ 専用カプラ M6～M24、W1/4～W7/8
- ④ 寸切ボルト M6～M24、W1/4～W7/8
- ⑤ 専用ワッシャー
- ⑥ スパナ(36mm)、延長パイプ
- ⑦ デジタルプリンター付表示器
- ⑧ デジタルプリンター付表示器用ケース

※SDカードは別途お買い求めください。

2, 注意事項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬時に落とす等、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。
- 9, より詳しい取扱い方法は別紙のTR-P II 本体取扱説明書をご参照ください。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に

よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

3. TRをご使用になる前に必ずお読みください



- I TR-30/75/150をご使用になる前に
F-7の設定でTEDS読込設定を
必ず確認してください。
4項目共に[スル]になっていない場合は
必ず変更してください。

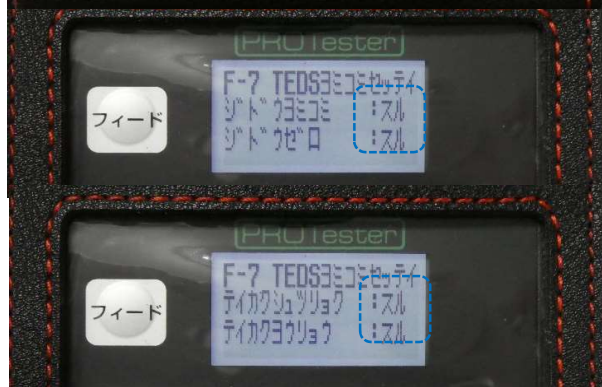


- II F-7を確認するときは、セットボタンを
長押ししてファンクションメニューに
遷移します。



- III F-2の表示から、
「ピークホールド」のボタンを5回
押すと、表示画面がF-7になります。

F-7が表示されたら、セットボタンを
押してください。



- IV 変更メニューに遷移すると
〈スル〉〈シナイ〉の項目が点滅するので
[ゼロ] ボタンで変更して[セット] を押し
次の項目に移動します。
4項目共に同様の操作で変更します。



- V 定格容量の項目を<スル>に変更したら
[セット] を押してF-7画面に戻ります。

[ゼロ] を押すと、現在の荷重の
表示画面に戻ります。

- VI 一度電源を落として、
起動し直すと、接続している
荷重計の読み値が表示されます。

- VII この設定はTRシリーズに登録されて
いる設定情報を自動的に読み込む
ための設定ですので、TRシリーズを
接続して使用する際は必ず確認を
してください。

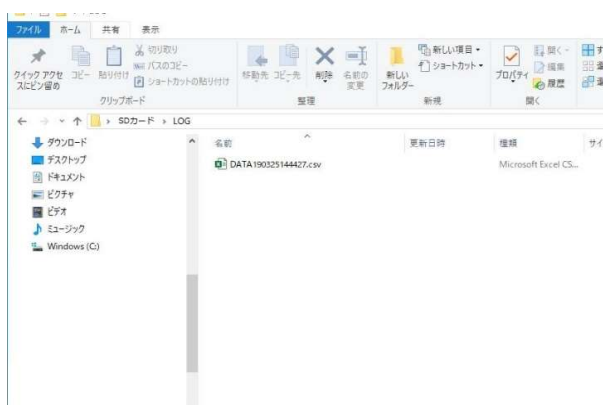
4. データ収録機能

- ① 本器にはSDカードに測定データを収録する機能が搭載されています。

挿入口: 本体底部



- ② データの保存場所は下記の通りです。
任意のドライブ: ¥LOG



- ③ 上記フォルダ内のCSVデータが
測定値の記録されているファイルです。

各項目の日本語名は下記の通りです。

date: 日付 time: 時間 part: 部位名

count: 測定数 comparator: 設定値

measurements: 測定値 unit: 単位

date	time	part	count	comparator	measurement	unit
190325	14:44:30	AA	1	10	0.01	mN

- ④ 予め部位番号を設定する場合は
[ピークホールド] 長押しで<ブイバンゴウ>の
設定画面へ遷移します。
[セット] で変更メニューに遷移し
[ピークホールド] で桁、[ゼロ] で任意の値に
変更して [セット] で確定します。
[ゼロ] で測定画面に戻ります。



5. 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。



- ④ 黒い座金の上に銀色(片面黒)の座金を
設置します。



※銀色の座金を使用しないと、
センターホール型荷重計が供回りします。

鈍色面



銀色面





- ⑤ カブラを軽く手で締め付けます。
凸凹面などは、水平になるように
鉄板やクサビなどで調整して下さい。



- ⑥ スパナに延長パイプを繋ぎます。

⚠ ※蝶ネジを必ず締め付けてください。



6. 操作手順



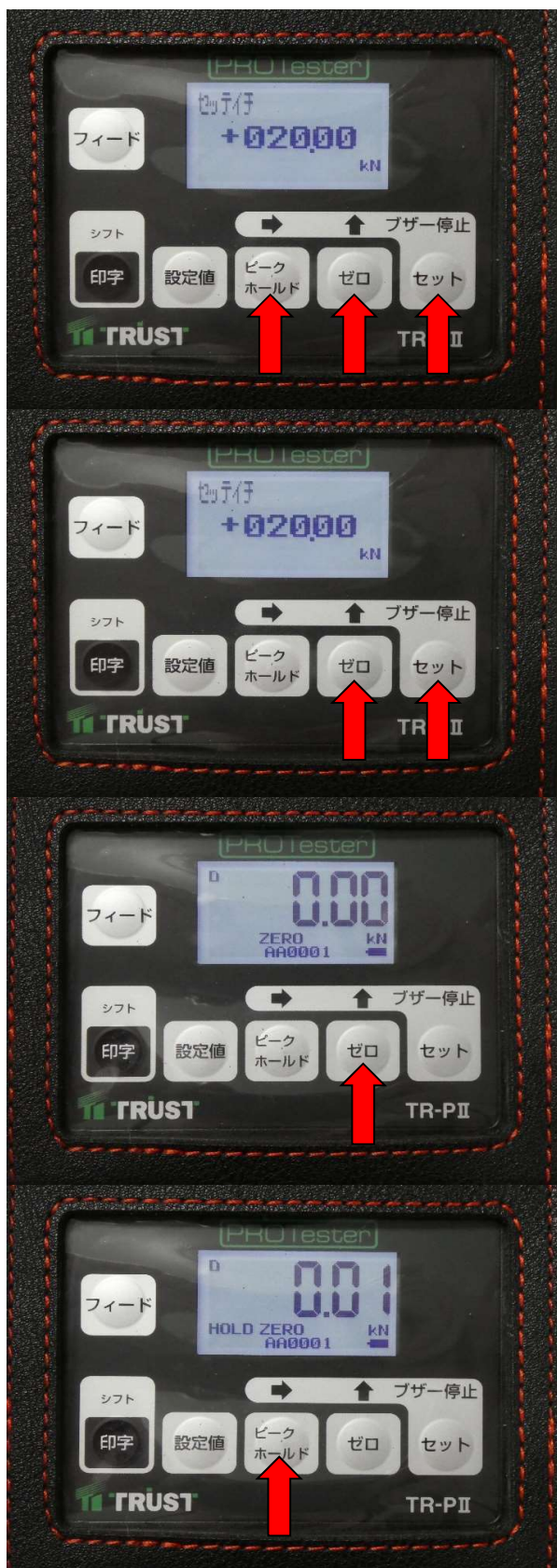
- ① デジタル表示器の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。
この時にSDカードが挿入されているか
必ず確認してください。
※SDカードがない状態では使用できません。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。
※バックライト使用時は「LIGHT」
の位置に合わせます。
電源ON時にSDの抜き差しは
絶対にしないでください。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為
操作をしないで下さい。
「Id_rd」と表示されたあと、「0.01」や「0.02」等の
数字に変化します。
- ④ 測定値を超えた際にブザーを吹鳴する
ように設定値を入力するには、[設定値]
ボタンを長押しします。(2秒以上)



⑤ 設定値メニューに遷移したら

[セット] ボタンを押して入力モードにします。

[ピークホールド] ボタンで変更したい桁、

[ゼロ] ボタンで数値の変更をします。

※ [シフト] を押しながら操作した場合
数値は減数、桁は左へ移動します。

⑥ 完了後に [セット] ボタンで確定し

[ゼロ] ボタンの短押しで

測定画面に遷移します。

⑦ [ゼロ] ボタンを押し、ゼロ設定をします。

液晶画面に<ZERO>が表示します。

⑧ 最大値の表示を保持する場合は、

[ピークホールド] ボタンを短押しします。

液晶画面に<HOLD>が表示します。



- ⑨ スパナでカブラを締め付けて測定します。

設定値に達するとブザーが吹鳴します。

- ⑩ [印字] ボタンを押し、データを記録し同時に印字します。

※F-15の設定で印字機能を[シナイ]を選択

されている場合はデータ収録のみとなります。

新部位番号の設定、SDの変更、4秒超の長押し操作後に一度だけ[シンファイルメイ]と表示します。

- ⑪ 印字イメージはこのようになります。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
Ad,-Ad	入力範囲の+側、-側のオーバーです。	正しく接続されているか、断線がないかを確認し異常がある場合は交換や修理を行ってください。
ES	SDカードエラーです。	SDカードのプロテクトの確認とフォーマット形式を確認してください。
EP	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です。	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください。
IdErr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が全て「スル」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
ET	TEDS読みエラーです。	TEDS搭載の変換器であることを確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

✕毛



大阪支店 〒567-0029
大阪府茨木市五日市緑町5番32号
TEL:072-621-4164 FAX:072-621-4166

東京支店 〒123-0864
東京都足立区鹿浜3丁目4番3号
TEL:03-5838-0723 FAX:03-5838-0724

販売店	販売担当
	検品

非破壊試験機
PRO Tester TR-75・150
アンカーボルト引抜荷重確認試験機

簡単スタートアップガイド



適合サイズ

M6～M24

W1/4～W7/8



株式会社トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

NETIS登録番号 KT-160111-A

目 次

1,	標準セット付属品一覧		P-1
2,	注意事項		P-2
3,	TRをご使用になる前に必ずお読みください		P-3~4
4,	データ収録機能		P-5
5,	組立手順		P-6~7
6,	操作手順		P-8~10
7,	メモ		P-11

1, 標準セット付属品一覧



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計(TR-75)
- ③ センターホール型荷重計(TR-150)
- ④ 専用カプラ M6～M16、W1/4～W5/8 (TR-75用)
- ⑤ 専用カプラ M6～M24、W1/4～W7/8 (TR-150用)
- ⑥ 寸切ボルト M6～M24、W1/4～W7/8 (TR-75,150兼用)
- ⑦ 専用ワッシャー
- ⑧ スパナ(36mm)、延長パイプ
- ⑨ デジタルプリンター付表示器
- ⑩ デジタルプリンター付表示器用ケース

※SDカードは別途お買い求めください。

2, 注意事項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬時に落とす等、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。
- 9, より詳しい取扱い方法は別紙のTR-P II 本体取扱説明書をご参照ください。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に

よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

3. TRをご使用になる前に必ずお読みください



- I TR-30/75/150をご使用になる前に
F-7の設定でTEDS読込設定を
必ず確認してください。
4項目共に[スル]になっていない場合は
必ず変更してください。

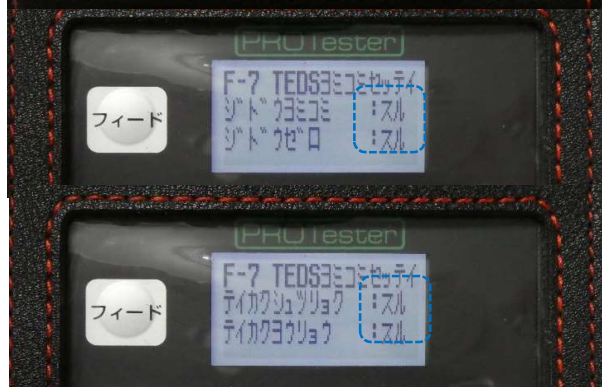


- II F-7を確認するときは、セットボタンを
長押ししてファンクションメニューに
遷移します。



- III F-2の表示から、
「ピークホールド」のボタンを5回
押すと、表示画面がF-7になります。

F-7が表示されたら、セットボタンを
押してください。



- IV 変更メニューに遷移すると
〈スル〉〈シナイ〉の項目が点滅するので
[ゼロ] ボタンで変更して[セット] を押し
次の項目に移動します。
4項目共に同様の操作で変更します。



V 定格容量の項目を<スル>に変更したら
[セット] を押してF-7画面に戻ります。

[ゼロ] を押すと、現在の荷重の
表示画面に戻ります。

VI 一度電源を落として、
起動し直すと、接続している
荷重計の読み値が表示されます。

VII この設定はTRシリーズに登録されて
いる設定情報を自動的に読み込む
ための設定ですので、TRシリーズを
接続して使用する際は必ず確認を
してください。

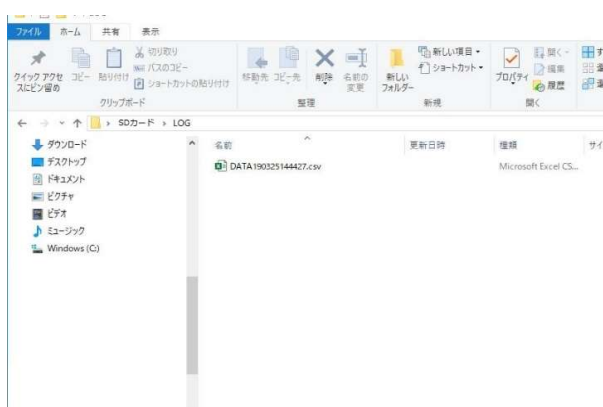
4. データ収録機能

- ① 本器にはSDカードに測定データを収録する機能が搭載されています。

挿入口: 本体底部



- ② データの保存場所は下記の通りです。
任意のドライブ: ¥LOG



- ③ 上記フォルダ内のCSVデータが
測定値の記録されているファイルです。

各項目の日本語名は下記の通りです。

date: 日付 time: 時間 part: 部位名

count: 測定数 comparator: 設定値

measurements: 測定値 unit: 単位

date	time	part	count	comparator	measurement	unit
190325	14:44:30	AA	1	10	0.01	mN

- ④ 予め部位番号を設定する場合は
[ピークホールド] 長押しで<ブイバンゴウ>の
設定画面へ遷移します。
[セット] で変更メニューに遷移し
[ピークホールド] で桁、[ゼロ] で任意の値に
変更して [セット] で確定します。
[ゼロ] で測定画面に戻ります。



5. 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。



- ④ 黒い座金の上に銀色(片面黒)の座金を
設置します。



※銀色の座金を使用しないと、
センターホール型荷重計が供回りします。

鈍色面



銀色面





- ⑤ カブラを軽く手で締め付けます。
凸凹面などは、水平になるように
鉄板やクサビなどで調整して下さい。



- ⑥ スパナに延長パイプを繋ぎます。

⚠ ※蝶ネジを必ず締め付けてください。



6, 操作手順



- ① デジタル表示器の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。
この時にSDカードが挿入されているか
必ず確認してください。

※SDカードがない状態では使用できません。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。

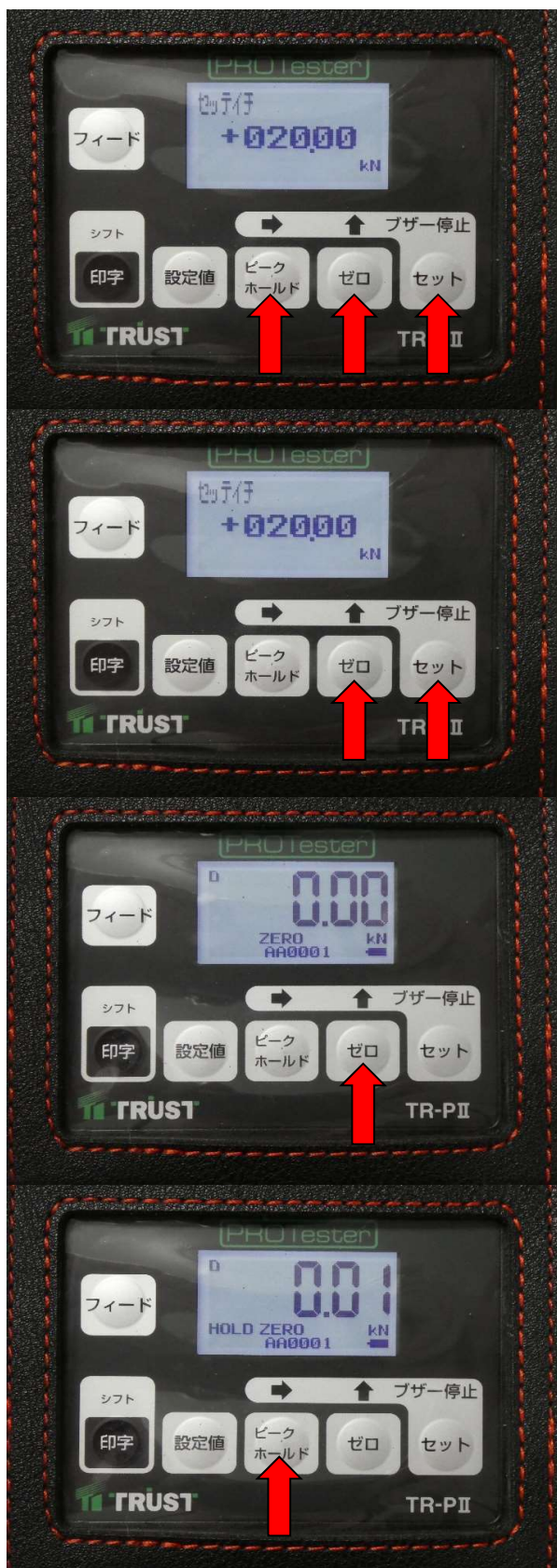
※バックライト使用時は「LIGHT」
の位置に合わせます。

電源ON時にSDの抜き差しは
絶対にしないでください。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為
操作をしないで下さい。
「Id_rd」と表示されたあと、「0.01」や「0.02」等の
数字に変化します。

- ④ 測定値を超えた際にブザーを吹鳴する
ように設定値を入力するには、[設定値]
ボタンを長押しします。(2秒以上)



⑤ 設定値メニューに遷移したら

[セット] ボタンを押して入力モードにします。

[ピークホールド] ボタンで変更したい桁、

[ゼロ] ボタンで数値の変更をします。

※ [シフト] を押しながら操作した場合
数値は減数、桁は左へ移動します。

⑥ 完了後に [セット] ボタンで確定し

[ゼロ] ボタンの短押しで

測定画面に遷移します。

⑦ [ゼロ] ボタンを押し、ゼロ設定をします。

液晶画面に<ZERO>が表示します。

⑧ 最大値の表示を保持する場合は、

[ピークホールド] ボタンを短押しします。

液晶画面に<HOLD>が表示します。



- ⑨ スパナでカブラを締め付けて測定します。

設定値に達するとブザーが吹鳴します。

- ⑩ [印字] ボタンを押し、データを記録し同時に印字します。

※F-15の設定で印字機能を[シナイ]を選択

されている場合はデータ収録のみとなります。

新部位番号の設定、SDの変更、4秒超の長押し操作後に一度だけ[シンファイルメイ]と表示します。

- ⑪ 印字イメージはこのようになります。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
Ad,-Ad	入力範囲の+側、-側のオーバーです。	正しく接続されているか、断線がないかを確認し異常がある場合は交換や修理を行ってください。
ES	SDカードエラーです。	SDカードのプロテクトの確認とフォーマット形式を確認してください。
EP	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です。	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください。
IdErr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が全て「スル」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
ET	TEDS読みエラーです。	TEDS搭載の変換器であることを確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

✕毛



大阪支店 〒567-0029
大阪府茨木市五日市緑町5番32号
TEL:072-621-4164 FAX:072-621-4166

東京支店 〒123-0864
東京都足立区鹿浜3丁目4番3号
TEL:03-5838-0723 FAX:03-5838-0724

販売店	販売担当
	検品